



特別企画展

並三の古陶の六

中世のやきもの — 六古窯とその周辺 —

CERAMICS OF MEDIEVAL JAPAN: THE SIX OLD KILNS AND THEIR WORLD

2011年4月2日[土]—5月22日[日]

愛知県陶磁資料館 本館1階 第1・第2 および 特別展示室

- 主催: 愛知県陶磁資料館・「中世のやきもの展」開催実行委員会・中日新聞社
- 後援: 愛知県教育委員会・愛知高速交通株式会社(リニモ)
- 開館時間: 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
※4月2日(土)は開会式のため午前1時から
- 休館日: 毎週月曜日
- 観覧料: 一般600円(480円) 高大生500円(400円) 中学生以下無料
- ※1日以内は20名以上の団体料金※リニモ生業4票(陶磁資料館南側、豊が丘駅、八草駅、愛・地球博記念会館前の改札内スタンプに設置の割引チラシ持参の方は観覧料が2割引になります。お身体等に障がいのある方および付き添いの方には割引制度があります。



■寄贈 大正 12世紀 個人蔵 瀬田部文化財 豊前 西宮大造 福安(文安)元[1444]年 千光寺 ■寄贈 大正 14世紀 個人蔵 瀬田部文化財 新美 辰野戸繁文三 12世紀 愛知県陶磁資料館
■贈与 大正 12世紀 石川景立歴史博物館 瀬田部文化財 瀬田部 宗徳 14世紀 愛知県陶磁資料館 瀬田部 宗 13世紀 坂井宗隆 宗隆

古陶の譜

中世のやきもの—六古窯とその周辺—

CERAMICS OF MEDIEVAL JAPAN: THE SIX OLD KILNS AND THEIR WORLD

日本の中世のやきもの—それは、米や麦などの穀物を蓄え、あるいは飲料水を溜めたりする壺や甕、また穀物をすり潰す漉鉢に代表される日常の器です。飾り気のない暗褐色の肌が重厚な常滑や越前。緑色に輝くガラス化した自然釉がたっぷりとかかる丹波。赤褐色に焼き締まった男性的な備前。長石が白い粒となって噴き出す、明るい土膚が魅力の信楽。規則的な叩き目文が力強い、灰黒色の珠洲。秋草や鶯など日本の風景を優美な筆致で刻んだ「黒い壺」瀬美。中国陶磁の影響を大きく受けた灰釉や鉄釉のかかる高級陶器、瀬戸。それぞれの産地で焼かれた各地独特の味をもつ日常の器たちは、実直さと堅牢さをもって日本陶磁史上に鮮やかな輝きを放っています。そして、これらのやきものを中世より連続と作り続けてきた大窯業地—瀬戸、常滑、越前、信楽、丹波、備前—いわゆる「六古窯」は戦後長く中世窯業史の代名詞として親しまれてきました。しかし、近年全国各地でさまざまな窯業遺跡の発見が相次ぎ、もはや「六古窯」にとどまらない多様な窯業地の実態が明らかになりつつあります。本展覧会では重要文化財13点、重要美術品3件を含む165点を「六古窯」の代表的名品を中心に展示いたします。これは最新の考古学成果を反映し、さらに他の窯業地作品をも網羅する、約30年振りの大規模な総括的展覧会となります。[全国5会場を巡回します。東海地方では当館のみの開催になります。]



重要文化財 常滑 四郎文壺 14世紀 文化庁



重要文化財 丹波 秋草文四郎大壺 14世紀 文化庁



常滑 三葉文壺 12世紀 個人蔵



備前 大壺 13世紀 瀬戸窯陶芸館



兵庫県指定文化財 丹波 壺 14世紀 丹波古陶館



重要文化財 瀬戸 灰釉牡丹文広口壺 14世紀 東京国立博物館
Image: TNM Image Archives. Source: <http://TnmImage.jp/>

■ 関連事業

◎ 記念講演会

- 第1期 「中世陶器を愛でる—それぞれの味わいと魅力」
講師：井上喜久男（愛知県陶磁資料館）
日時：4月24日（日）午後1時30分～3時
- 第2期 「中世陶器研究の新段階—考古学的成果を中心に」
講師：井上喜久男（愛知県陶磁資料館）
日時：5月8日（日）午後1時30分～3時

会場：いずれも愛知県陶磁資料館 本館地下1階講堂

◎ 講演会

- 第1期 「古瀬戸と中国陶磁」
講師：森達也（愛知県陶磁資料館主任学芸員）
日時：4月9日（土）午後1時30分～3時
- 第2期 「鎌倉・室町の工芸—金工、漆工、やきもの」
講師：長久智子（愛知県陶磁資料館学芸員）
日時：5月15日（日）午後1時30分～3時

会場：いずれも愛知県陶磁資料館 本館地下1階講堂

◎ 本展覧会者・井上喜久男による展示解説

4月29日（金・祝）、5月7日（土）
午後1時30分～1時間程度 予約不要、参加無料
※ただし観覧券が必要です。

◎ 学芸員による展示解説

4月2日（土）、4月16日（土）、5月21日（土）
午後1時30分～1時間程度 予約不要、参加無料
※ただし観覧券が必要です。

■ 寄贈記念

会期中、茶室「陶楽庵」では、人間国宝 故・荒川養徳氏と加藤孝造氏の茶湯でお抹茶を楽しんでいただけます。（一俵530円）

■ 瀬戸市内の展覧会

◎ 瀬戸市美術館

せと陶祖まつり第50回記念 せとものフェスタ2011
瀬戸市美術館特別展
「東南アジアのやきもの—町田市立博物館コレクション—」
4月16日（土）～5月29日（日）

◎ 瀬戸窯ミュージアム

「加藤善治展」2月12日（土）～5月8日（日）

◎ 瀬戸市新世紀工芸館

企画展「新宮伝記 畑中篤」4月2日（土）～6月19日（日）

◎ 瀬戸市マルチメディア伝承工芸館

企画展「瀬戸集付に描かれた鳥たち」
4月1日（金）～6月27日（月）

問い合わせ先：瀬戸市美術館 TEL:0561-84-1093

■ 交通

リニモ：「陶磁資料館南」駅から徒歩600m
名鉄バス：名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から徒歩「愛・地球博記念公園」駅行き「陶磁資料館」下車（土・日・祝日のみ運行）
自家車：東名高速道路・日通JCT経由名古屋瀬戸道路・長久手I.C.から瀬戸方面に約5km / 東名高速道路・名古屋I.C.から瀬戸・豊田・足助方面に約10km / 東海環状自動車道と赤津I.C.から長久手方面に約7km ※駐車場無料、250台収容
タクシー：地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から徒歩約20分 / 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から徒歩約15分



愛知県陶磁資料館

Aichi Prefectural Ceramic Museum
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932
<http://www.pref.aichi.jp/touji>



古陶の譜

中世のやきもの 一六古窯とその周辺一

CERAMICS OF MEDIEVAL JAPAN: THE SIX OLD KILNS AND THEIR WORLD

日本の中世のやきもの—それは、米や麦などの穀物を蓄え、あるいは飲料水を溜めたりする甕や壺、また穀物をすり潰す擂鉢に代表される日常の器です。飾り気のない暗褐色の肌が重厚な常滑や越前。緑色に輝くガラス化した自然釉がたっぷりとかかる丹波。赤褐色に焼き締まった男性的な備前。長石が白い粒となって噴きだす、明るい土膚が魅力の信楽。規則的な叩き目文が力強い、灰黒色の珠洲。秋草や鷺など日本の風景を優美な筆致で刻んだ「黒い壺」瀬美。中国陶磁の影響を大きく受けた灰釉や鉄釉のかかる高級陶器、瀬戸。それぞれの産地で焼かれた各地独特の味をもつ日常の器たちは、実直さと堅牢さをもって日本陶磁史上に鮮やかな輝きを放っています。そして、これらのやきものを中世より連綿と作り続けてきた大窯業地—瀬戸、常滑、越前、信楽、丹波、備前—いわゆる「六古窯」は戦後長く中世窯業史の代名詞として親しまれてきました。しかし、近年全国各地でさまざまな窯業遺跡の発見が相次ぎ、もはや「六古窯」にとどまらない多様な窯業地の実態が明らかになりつつあります。本展覧会では重要文化財13点、重要美術品3件を含む165点を「六古窯」の代表的名品を中心に展示いたします。これは最新の考古学成果を反映し、さらに他の窯業地作品をも網羅する、約30年振りの大規模な総合的展覧会となります。[全国5会場を巡回します。東海地方では当館のみの開催になります。]



重要文化財 堺 四郎文倉 14世紀 文化庁



重要文化財 丹波 秋草文四郎文倉 14世紀 文化庁



常滑 三葉文倉 12世紀 個人蔵



備前 大甕 13世紀 瀬丹島陶器館



兵庫県指定文化財 丹波 壺 14世紀 丹波古陶館



重要文化財 瀬戸 辰麩牡丹文大甕 14世紀 東京国立博物館
©Image: TSM Image Archives. Source: http://TSMImageArchives.jp/

関連事業

◎記念講演会

- 第1回 「中世陶器を愛でる—それぞれの味わいと魅力」
講師:井上喜久男(愛知県陶磁資料館)
日時:4月24日(日)午後1時30分~3時
- 第2回 「中世陶器研究の最新動向—考古学的成果を中心に」
講師:井上喜久男(愛知県陶磁資料館)
日時:5月8日(日)午後1時30分~3時

会場:いずれも愛知県陶磁資料館 本館地下1階講堂

◎講演会

- 第1回 「古瀬戸と中国陶磁」
講師:森達也(愛知県陶磁資料館主任学芸員)
日時:4月9日(土)午後1時30分~3時
- 第2回 「鎌倉・室町の工芸—金工、漆工、やきもの」
講師:長久哲子(愛知県陶磁資料館学芸員)
日時:5月15日(日)午後1時30分~3時

会場:いずれも愛知県陶磁資料館 本館地下1階講堂

◎本展覧会新着・井上喜久男による展示解説

4月29日(金・祝)、5月7日(土)
午後1時30分~1時間程度 予約不要、参加無料
※ただし観覧券が必要です。

◎学芸員による展示解説

4月2日(土)、4月16日(土)、5月21日(土)
午後1時30分~1時間程度 予約不要、参加無料
※ただし観覧券が必要です。

寄贈記念

会期中、茶室「陶楽庵」では、人賀国定 敬・荒川重義氏と加藤孝造氏の茶室でお抹茶を楽しんでいただけます。(一俵530円)

瀬戸市内の展覧会

- ◎瀬戸市美術館
せと陶祖まつり第50回記念 せとものフェスタ2011
瀬戸市美術館特別展
「東南アジアのやきもの —町田市立博物館コレクション—」
4月16日(土)~5月29日(日)
- ◎瀬戸蔵ミュージアム
「加藤普治展」2月12日(土)~5月8日(日)
- ◎瀬戸市新世紀工芸館
企画展「新宮広記 畑中篤」4月2日(土)~6月19日(日)
- ◎瀬戸市マルチメディア伝承工芸館
企画展「瀬戸乗付に描かれた鳥たち」
4月1日(金)~6月27日(月)
- (問い合わせ先:瀬戸市美術館 TEL:0561-84-1093)

交通

リニモ:「陶磁資料館南」駅から徒歩600m
名鉄バス:名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から「愛・地球博記念公園」駅行き「陶磁資料館」下車(土・日・祝日のみ運行)
自家用車:東名高速道路・日通JCT経由名古屋瀬戸道路-長久手I.C.から瀬戸方面に約5km / 東名高速道路-名古屋I.C.から瀬戸・豊田・足助方面に約10km / 東海環状自動車道-せと赤津I.C.から長久手方面に約7km ※駐車無料、250台収容
タクシー:地下鉄東山線-リニモ「藤が丘」駅から約20分 / 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分



愛知県陶磁資料館

Aichi Prefectural Ceramic Museum
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932
http://www.pref.aichi.jp/teuji

